

(4) 鬼高フレンズ

ジュニア B リーグに参加させていただいて

鬼高小は、市川一のマンモス校で サッカーの人数も多く、野球も2チームあるため校庭を使用できる日も限られており、平日に野球の真似事で遊べる場所もない環境です。

そんな中、今年から B リーグに参加させていただいたおかげで、今までほとんど主役になる機会がなかったジュニアの子供達が、毎週のように柏井で試合をすることができました。

‘野球ができるのがうれしくてたまらない’ というのが全身に現れているかのように本当に元気いっぱいプレーしていました。

試合を重ねるごとに、野球の技術だけでなくルールやマナーも学び、他のチームの良い所は どんどんお手本にして、チーム全体が様々な面で大変成長したと思います。

息子は今年、ジュニアチームのキャプテンをさせていただきました。はじめは あまり自覚もなかったようですが、段々とキャプテンらしくなり、道具の管理やグラウンドの石拾い、声出し等も率先してやるようになりました。また、チームのお友達とも以前にも増してとても仲良くなりました。子供達なりに、仲間意識や信頼感のようなものが芽生えたのかも知れません。

B リーグで得たものは本当に大きく、来シーズンからレギュラーチームに上がっても、必ず生かされることと思います。ジュニアの時に、このような場を与えていただけて、この子供たちは本当に幸せだなア・・・と感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

鬼高フレンズ4年母 浜中みどり

Bリーグへの参戦

鬼高フレシズ

市川

忍

初めに、早朝からのグラウンド整備、管理をして下さっている関係者の方々に感謝致します。

我チームは今年から参加させて頂きました。野球を始め一年半の息子には大きな励みとなり、レギュラー入りを目指し頑張っております。以前でしたら、五・六年生からで

はないと試合も経験出来ず来る日も来る日も基本練習で試合形式でグラウンドを使う事もポジションに着いた事も無かった低学年が初めて参戦のため試合形式の練習をした時の嬉しそうな生々とした顔が忘れられません。我チームの三年生は十五名おり、息子もその一人です。バキ年生の六人そして残りのレギュラー三人も十五名で戦うので今までの砂遊びもついでに子供達も意識も変わり一生懸命に打ち込む姿へと変化しました。

参戦もしてプレー以外の様々なマナーも学ぶ
 事が出来たと感じます。

グラウンドの小さな石拾いから始まり正例、
 ハッターボックスに入る時の挨拶、応援の
 マナー。プレー以外の事も始めは分からず
 注意を受けられた彼らも、今では皆んなで
 出来るようになってきました。

大人にとっては当たり前前の行動も、やはり子
 供には教えてあげないと分かりません。その
 機会もバリーグで作って頂いたと思っております

ます。

現在は家の周りでもキャッチボールすら出
 来ない環境です。少年野球の関係者のお陰
 でグラウンドや学校で練習が出来、試合も参戦
 出来る事は野球が大好きな子供達にとって
 嬉しい事です。そしてレギュラーを目ざし
 て毎日素振りをしている息子。応援したいと
 思っています。

私事ですが、サッカー少年だった主人も今
 ではお父さんコーチとして一緒に練習に参

加し、私も見学に行き子供と同じ話題が持て
成長も感じられる事が素敵だと思っております。
親にとってもいい経験と想い出を作ってく
れていると子供にも感謝です。
これから皆様方のお力を借りて成長
して行きたいと思います。よろしくお願い致
します。